

■英国：EDF エナジー社は英国の配電事業を香港の投資グループに売却

EDF の英国子会社 EDF エナジーは、2010 年 7 月 30 日、同社が所有する配電網を香港の投資家（李嘉誠氏）率いるコンソーシアムへ約 58 億ポンド（約 7,656 億円）で売却することで合意した。EDF エナジー社は、首都ロンドン、南東部および南西部地域を中心に、約 790 万軒の需要家に対し英国の 25%の電力を配電する最大の配電事業者である。李嘉誠氏のコンソーシアムには、CKI ホールディングス、香港電燈集团有限公司、香港長江基建集团有限公司、李嘉誠基金などが含まれる。なお、今回合意された買収額は、英国で香港企業が買収した案件の中で最高額となる。本件を巡っては、カナダの投資会社と組んだスコティッシュ・エナジー社、アブダビ投資庁連合（アブダビ投資庁、カナダ年金基金、オーストラリアの投資会社マッコーリーグループ）も名乗りを上げていた。EDF は 2009 年 10 月に自社の債務削減を目的に EDF エナジーの配電網売却の計画を発表していたが、金融市場の状況や売却見込み額が EDF の希望に達しなかったことから、一時は売却を断念するのではないかという報道も出ていた。